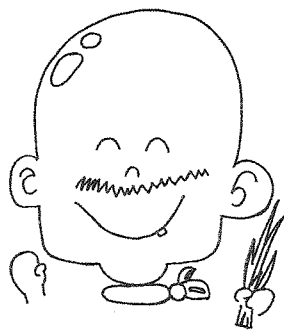


**農大同窓会報**

発行所  
愛知県立農業大学校同窓会  
岡崎市美合町字並松1-2  
電話 (0564) 51-1601

編集発行人  
同窓会長 柴田 隆夫  
印刷所 (株)イヅミ印刷所  
電話 (0564) 21-2657

ごあいさつ



会長 柴田 隆夫

はじめましての方も多いと存じますが同窓会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。平素は本会運営にご理解ご支援を頂きまして誠に有難うございます。

本年度の理事会におきまして前鈴木吉地会長より会長職を引き継ぐこととなりました柴田隆夫と申します。慣れない事ゆえ不行き届きの点多々あるうかと思われますが、よろしくお願い致します。

簡単な自己紹介をさせていただきますますと昭和54年専門部卒業。息子も農学科を卒業しましたので親子共々お世話になりましたので少しは恩返しできればとの想いでお引き受け致しました。実のところ私農業に関しまし

てかなり不真面目なところがあ  
りまして、こんな大役を仰せつ  
かる立場にないとも思っており  
ます。というのも27才、34才く  
らいまでコインロッカーのリー  
ス業、ゲーム機、健康器具のリー  
ス業などの自営業をするかたわ  
ら、結婚式場へ就職するなど、  
農業と違う道を志した経緯があ  
り、一度は農業の未来を悲観し  
た男なのであります。ところが  
管理職になってみますと、サラ  
リーマンが自分には最も向かな  
い職業だと痛感していましたと  
ころ1993年頃野菜の全自動  
定植機、乗用管理機、ハイクリ  
ブームスプレヤーなどが登場  
してきまして露地野菜農業に一  
筋の光明を感じまして、遂に真  
面目に農業に取り組みだしたと  
いう次第です。本気でやる以上  
独自のスタイルを確立したいと  
思い、開発型農業ということに  
行きつき、現在四苦八苦しながら  
葉ネギ露地栽培に取り組んで  
いるところでございます。

開発型農業というのは聞き慣  
れないとも思われますが、必要

なシステム他、機械、道具など  
を農場独自で開発し、新しい農  
業経営を創造していくスタイル  
です。これが苦勞は多いのです  
が、誠にやりがいがあつて面白  
いのです。

農業は人類歴史からすると一  
次産業というくらい古い歴史を  
持っていますが、21世紀の現代  
の科学、技術からするとつっこ  
みどころ満載の産業です。農業  
機械もかなり発展はしましたが、  
個々の現場からすると物足りな  
かったり、不具合が多いのが現  
状です。葉ネギの前には赤シソ  
を20年程手掛けましたが、一人  
当りの管理面積を10倍に引き上  
げることができました。これぐ  
らい改善の余地があるのが農業  
です。

ブラジルやペルーから日本に  
移住して農業に取り組んでいる  
知り合いがいますが、インフラ  
の整備や科学、技術が進んだ先  
進国でこそ付加価値の高い農業  
が出来るかと、日本で農業が出来  
ることに大きな希望とよろこび  
を持っていきます。

息子が農業と一緒にやるよう  
になつたら、海外にでも行って  
農業をやるべきなのかと真剣に  
思う時期がありました。今で

は海外から見た日本の強みを信  
じて日本で農業に取り組む所存  
です。

農大の学生の皆さんには植物  
や家畜を育てる農業の普遍性と  
可能性からしたら一生を捧げ人  
間力を丸ごとぶつけるだけの価  
値ある職業としての農業の魅力  
を存分に感じていただきたく思  
います。農業は人間の体力・知  
力・創造力のすべてをぶつける  
に値する素晴らしい職業です。  
人間は従属栄養生物ですが、植



ごあいさつ

校長 藤井 潔

同窓会員の皆様方には、益々  
御健勝にて御活躍のこととお慶  
び申し上げます。

日頃から、柴田隆夫新同窓会  
長様を始め、役員、理事、会員  
の皆様方には、本校の運営に格  
別の御理解と御協力を賜り、深  
く感謝申し上げます。

また、永島敏行氏の記念講演  
会を含む本校同窓会80周年記念  
事業の開催や同窓会名簿の15年  
ぶりの全面改訂など、同窓会の  
発展に長年に渉って御尽力さ  
れ、昨年度末をもって御勇退さ  
れました、鈴木吉地前会長様、  
岡田正人前副会長様、飯田喜美

物は独立栄養生物なのです。  
自然との間に立って直に感じら  
れるのは農業をおいて他にはあ  
りません。

学生、卒業生の皆さん21世紀  
にふさわしい農業の創造に取り  
組もうではありませんか！  
簡単な自己紹介と、私の農業  
への想いを書かせていただきま  
して、挨拶に代えさせていただきます。

子前副会長様、中根淑子前会計  
監事様各氏のこれまでの御功績  
に対しまして、同窓会報の紙面  
をお借りして改めて厚く御礼申  
上げます。

さて、小生は、本年4月に農  
業大学校長を拝命いたしました  
藤井と申します。本年度通算5  
年目の農大勤務になりますが、  
鈴木敏之前校長に引き続きまし  
てよろしくお願ひ申し上げます。

愛知農大の近況

平成26年度卒業式を27年3月  
5日(木)に執り行い、農学科

84名、研究科7名が新たな進路に進みました。

農学科卒業生84名中、半数に当たる42名が就農(後継者就農及び農業法人への雇用就農)し、その他に、就農を見据えた一次就職や研修を進路選択した者が7名いました。また、研究科では、就農が3名、農業関連への就職が3名でした。これら卒業生には、本県農業の担い手として、また、これからの農業を支える人材として、今後の活躍を大いに期待しております。

同窓会の皆様にも、これら卒業生と関わる機会がありましたら、先輩として御指導、御支援いただければ幸いに存じます。本校では、学生の進路選択支援策として、個別面談や進路セミナーに加えて、2月と5月(本年は3月と6月)に合同就職相談会を開催しています。この相談会には、20社を超す事業所・団体が御参集いただきました。同窓会員の皆様が経営する農業法人も何社か御参加いただき、感謝申し上げます。

続いて、4月14日(火)に平成27年度入学式を行いました。今年度は農学科に、平成では最多の97名が入学しました。また、研究科には農学科卒業生6名が進学しました。新入生にとって緊張の中にも晴れやかで思い出

に残る入学式になったのではなにかと思っております。

学生募集の取組

全国の農大(養成課程)の入学者数の傾向は若干減少しつつあるとのことですが、本校農学科では、直近4年において増加しています。特に27年度入学試験においては、定員100名を大きく上回る128名が応募し、一般入試の倍率は1.4倍を超えました。これは、同窓会はじめ多くの関係者の御支援・御協力のおかげと感謝しております。

これからも、より多くの意欲ある学生の確保のため、時代変化に対応した学習内容の充実とともに、本校の特徴や魅力を広く伝えていきたいと存じます。本年度も、親しみやすい農大案内のパンフレットを作成し、高等学校はもとより、各方面に広く配布させていただきました。また、農大HPも学校案内や各種情報の充実を図っています。同窓会員の皆様には、今後とも母校愛知農大のPRに御協力いただければ幸甚に存じます。

新学生寮の整備

創立81周年目を迎える本校は、今年度中に、待望久しかった新学生寮が建ちます。平成28年3月に新寮に入寮予定です。

建て替え後の新寮は、冷暖房を完備した個室200室の舎室に、新しい食堂を併設するなど、生活スタイルの変化に対応した学生寮に生まれ変わります。

一方、寮生活でこそ培われる自主性、協調性、連帯感など、集団生活の優れた機能は残すべく、共同風呂や談話スペースなどの学生が集うことのできる共用施設も備えた寮になります。

最後に

本県の新規就農青年数は、近年150名〜200名弱で推移しています。このうち、本校卒業生は、毎年20%〜30%を占めており、本県農業を支える優秀な人材の養成という本校の使命は一層重要と考えます。

この使命を果たすため、農業に対する意欲の高い学生の確保を始め、教育研修基本計画の策定や、職員の学生指導能力の強化、学習生活環境の充実に全校的に取り組みます。同窓会の皆様には、今後とも農大の円滑な運営に、より一層の御支援をお願いいたします。

会員の皆様のさらなる御活躍と御繁栄を心より祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。



退任回想

前会長 鈴木吉地

同窓会の皆様には私の在任期間中、本会の運営に御理解、御支援を頂きまして誠に有難うございました。

顧みますと平成22年度から前任の土屋勝氏より会長職を任命され引き受けました時、私の脳裏にありましたのは、『新学生寮の建設実現』でした。これが、県知事をはじめ関係者各位の御理解と御尽力により本年度着工、来春には完工の運びとなりました。誠に喜ばしい限りでございます。

私は昭和52年本校卒業と同時に三代前の故・柴田勝義会長の委嘱を受け、本会の役員として37年間本校同窓会の運営に協力してきました。柴田勝義会長時代に本校の総合整備計画が立案され、その初案の青写真には本校正門を北側から改め、その延長線上の中心に現在の中央教育棟を置き、更にその南に新教室棟、東側に新学生寮(男子寮と女子寮を合併)、西側には同窓会館までも計画されておりました。同窓会館については、同窓会員が常に連帯感を保てるよう

に卒業後も本校へ足を運べるような気持ちになれる施設をということでした。建物内には喫茶室も併設、素泊まりも可能にし、部会活動やクラス会にも使えるようにしたいという事でした。

時は流れて、本校が昭和59年に追進管農大から農業大学校に再編することに合わせ南側の新教室棟と中央教育棟が前々会長伊藤豊治氏の時に順次建設されました。その後の経済情勢等により、最後に残された新学生寮の建設は、なかなか実現せず、後手に回されてきました。

これを打開するには行動しかなという事で、平成24年に当時の山田校長始め同窓会役員、後援会役員により県庁で大村知事に新寮建設への要望書を手渡し、本校への理解を求めました。近年の大地震の頻発による耐震基準の見直しも新寮建設に大きく働いたものと思えます。

会長在任期間は短かったかもしれませんが、柴田勝義氏の意思を少しは引き継ぐことができたのではないかと思います。本同窓会記念式典も役員とし

て50周年から四回経験させてい
ただきました。その節目毎に
思い出されることが多々ありま
す。特に昨年の80周年式典は私
の役員在任最後のけじめとして
久々の同窓会名簿の発刊と併せ
て盛大に開催できた事は、同期
の有能な役員さんにも恵まれて
喜ばしい限りでした。
後継の新会長として柴田隆夫

◆◆平成二十七年 度 理事会だより◆◆

平成27年2月6日(金)午前
10時から、平成27年度農業大学
校同窓会理事会が中央教育棟研
修室において開催されました。
鈴木会長、鈴木校長のあいさ
つの後、鈴木会長を議長に選出
して議事が進められました。

第一号議案 平成26年度事業
報告については、同窓会報の発
行、役員会・理事会の開催、卒
業生への記念品贈呈、農業大学
校同窓会全国連盟総会等への参
加、「同窓会創立80周年記念事
業」の実施について報告があり、
異議なく承認されました。
続いて、第二号議案 平成26
年度会計決算報告について説明
の後、審議に入り異議なく承認
されました。

氏が快く引き受けてくださり大
変感謝しています。以下新役員
の顔ぶれも有能な方々ばかり
で、今後同窓会活動を続けてい
く上で心強さを感じます。是非
とも会員始め関係者各位の御指
導・御協力を今後とも重ねてお
願ひ申し上げ、私の退任の挨拶
と致します。

その後、第三号議案 平成27
年度事業計画について、及び第
四号議案 平成27年度会計予算
について説明の後、審議に入り
両議案とも異議なく承認されま
した。

最後に、第五号議案 理事の
委嘱及び役員互選について審
議に入り、新しい会長として柴
田隆夫氏が選任されたのを始め
原案どおり承認され、全ての議
事を終了しました。

その後、「その他(一)役員
の委嘱について」では、会長が
委嘱する役員(事務局長、書記、
会計)についていずれも会長の
意向どおり委嘱することになり
ました。

東海近畿ブロック
同窓会長会議報告

平成27年度の東海近畿ブロック
農業大学校同窓会長会議が平成
27年6月11日(木)から12日(金)
にかけて、兵庫県立農業大学校
で開催され、柴田会長が出席し
ました。

会議においては、活動報告の
後、「同窓会の活動と運営」、「農
業大学校との連携活動」、「開校
記念式典等への取組」などにつ
いて協議、情報交換が行われ、
活発な議論が交わされました。

次期理事会
開催のお知らせ

同窓会規約により、平成28年
度は次のとおり開催予定ですの
で、理事の皆様は出席をお願い
します。

日時 平成28年2月9日(火)

午前10時30分から

場所 愛知県立農業大学校
中央教育棟研修室

平成二十七年 度
役員名簿

Table with 2 columns: Position (e.g., 会長, 副会長, 書記) and Name (e.g., 柴田隆夫, 富永康典, 伊藤真二). Includes a list of names for various roles in the association.

☆☆☆ 名簿購入のお願い ☆☆☆
《創立80周年記念》農業大学校同窓会名簿

(平成26年11月発行 残部あります)

創立80周年記念事業に併せて、平成26年11月に15年ぶりに新名簿を発行しました。創立以来の約8千名の会員名簿のほか、巻頭には本校の生い立ちや歴史的物事についても掲載しています。

まだ御購入されていない同窓会員様は、是非とも御購入をお願いいたします。

(注：平成27年3月の卒業生については、発行後ですので未掲載です。)

申込用紙が必要な方は事務局までご連絡ください。

名簿領価：1冊3,000円(消費税、送料込。振替手数料は別途)

お問い合わせは、同窓会事務局まで(電話 0564-51-1601)

農業大の近況 副校長 石田 和巳

一 概況

平成二十七年度(四月一日現在)の本校の学生数は、教育部農学科(以下農学科と記す)が百八十六名、教育部研究科(以下研究科と記す)が十五名で総数は二百一名です。うち女子は四十六名で二十三%を占め、昨年度より若干多くなっています。

専攻別学生数は左の表のとおりです。農学科では十三名から二十九名まで幅がありますが、野菜の二専攻と果樹専攻等を希望する学生が多い傾向にあるためです。一方、研究科の専攻については昨年に引き続き、畜産専攻の学生はなく、園芸農産専攻のみとなりました。

Table with columns: 専攻, 1年生, 2年生, 計. Rows include 鉢物・緑花木, 切花, 作物, 露地野菜, 施設野菜, 酪農, 養豚・養鶏, 園芸農産, 畜産, 合計.

二 入学状況

農学科の入学人数は九十七名

農学科26年度卒業生進路状況 (単位:人)

Table with columns: 進路, 人数, 割合. Rows include 後継者, 農業法人, 一時就職後就農, 就農計, 就職, 研修, 進学, その他・未定, 合計.

三 進路状況 昨年度の農学科卒業生の進路は左表のとおりです。後継者として即就農、農業法人への就職、一時就職後就農者を合わせると四十六名となり、五十五%の学生が就農しています。また、農業法人等への就職が年々増加しており、昨年に比べ人数で八名多くなっています。農業法人以外の就職先は農業関連企業・団体が中心となっています。進学は八名で研究科等へ入学しました。

研究科卒業生は七名で、就農が三名(新規就農・農業法人)、農協一名、関連企業等三名です。最近では、非農家出身

で、平成に入ってから一番多い入学者となりました。そのうち、農業高校出身者は六十名で、全体の約六十二%を占めています。また、専業農家の出身者は二十一名で全体の二十二%、非農家の出身者は七十一名で七十三%を占めています。研究科の入学者は六名で、全員が農学科から進学した学生です。



シクラメン鉢上げ実習

の学生が七割を占めていることもあり、農業法人への就職によつて就農の夢を叶えております。本校では職業安定法に基づき「無料職業紹介事業」を実施するなど就職支援に努めていますので、より多くの同窓生の皆様からの求人をお待ちしております。

四 専攻の近況 (教育部農学科)

(一) 鉢物・緑花木専攻 鉢物・緑花木専攻では、四棟のガラス温室や遮光ハウスなど約千五百㎡の施設と六百㎡の露地ほ場で、百種類以上の観賞用鉢物植物を栽培しています。本専攻の学生は、非農家の割合が高く、在籍者二十四名中十六名が非農家で、専業農家が七名、兼業が一名となっています。

今年のプロジェクト学習のテーマは、「コプロソスマ等のLEDによる終夜照明の効果確認」や「シンビジウムの品種選抜」、「シクラメンの育苗期の施肥量の違いが生育、開花に与える影響」、「アロマテイカスの栽培に適した生育環境の検討」などで、これらを卒業論文としてまとめ上げて行きます。



バラの調製作業の実習

四棟のガラス温室や繁殖室など約千五百㎡の施設、三百㎡の露地ほ場で、輪ギクを主体に、レリン処理方法を検討するもの、カーネーションでは有望品種を比較・検討するものなど、多岐に及んでいます。

(三) 作物専攻

作物専攻では、九枚計三、三haの水田ほ場で、水稲、小麦、大豆の栽培の実習に取り組んでいます。平成二十七年度の在籍者は二年生八名、一年生八名の計十六名です。入学当初にはイネに触ったことのない学生も少なくないため、一年生において水稲栽培に対するひととおりの基本知識が身に付けられるよう実習を進めています。

一年生の終盤からプロジェクト学習に取り組み、卒論としてまとめられます。平成二十七年度は、水稲の無農薬・無化学肥料栽培や農業総合試験場が開発した新品種の栽培法の検討などをテーマとして取り組んでいます。



無農薬・無化学肥料栽培ほ場での基肥(鶏ふん)散布